



後期恒例展 1



第11回 児童・生徒によるものづくり展

10月22日(木)～11月15日(日)

県内には、高岡市のもものづくり・デザイン科の取り組みをはじめ、伝統的、創作的な作品の製作に取り組んでいる学校が多くみられます。コロナ禍の影響で、今年度は春から秋へと開催を変更しましたが、小・中・義務教育学校・特別支援学校・高等学校32校から209点の作品が寄せられました。「…地域によってそれぞれの伝統等を大事にしながら子供たちも地域独特の作品を作りあげているんだなと興味深く拝見させていただきました」等の感想が寄せられました。来場者はじっくりと作品を鑑賞し、作品の多彩さに驚いたり、技術の高さに感心したりしていました。



第51回 富山県造形教育作品展

11月21日(土)～12月6日(日)

幼稚園・保育園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校約80校から、それぞれの年代の個性あふれる作品348点が集まりました。各発達段階の子供たちの作品から成長とともに、思いや願い、夢などが感じ取られました。今年度は、コロナ禍の影響でギャラリートークは中止となりましたが、例年以上の方が来館し、作品鑑賞を楽しみました。

「楽しい、力強い、美しい…等のたくさんの作品に囲まれ幸せを感じるひとときになりました」「絵画も工作も発想豊かな作品が多く、子どもの感性はすごいです」等の感想が多く寄せられました。



第31回 富山県中学校美術展

1月22日(金)～2月7日(日)

県内全ての78校の中学生による個性あふれる作品195点を展示しました。

日頃の美術科の学習や部活動の中で制作された作品には、対象への迫り方、色合いや質感、構成等、個性があふれ、目を見張るものが数多くありました。

「中学生なのにレベルが高く、本当に同じ中学生?と思いました」「世界観が自分と全く違って、こんな風に考える捉えることができるんだと思いました。とにかくすごい！」等、中学生自身の感想も多くありました。





後期恒例展②



第16回 アイデアロボット展

12月12日(土)～1月10日(日)

県内にはロボット製作に取り組んでいる学校が多く、近年は全国・地方・県で開催される競技大会（「ロボコン」）において、優秀な成績・成果を修めるチームが生まれています。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種大会が中止あるいは縮小されましたが、本ロボット展は、そうした中でもあきらめることなく意欲的に取り組んでいる中学校、工業高等学校、高等専門学校のロボットを一堂に集め、展示・公開しました。



第14回 富山県版造形教育作品展・秀作回顧展

2月17日(水)～3月21日(日)

過去に当館で開催された「県版造形教育作品展」の中から、平成16年から20年の優秀作品113点を展示しました。紙版や木版、銅版、ステンシルなど、発達段階に応じ様々な技法で製作された個性豊かな作品が見られました。また、平成10年代後半の図画工作・美術科における素材や技法に加え、当時の子供たちの暮らしぶりを作品から垣間見ることができました。



来館の際には、是非、大関とのツーショット撮影をしてみてください。

どやまの宝再発見！

『朝乃山コーナー』

記念館の1階フロアの一角に、等身大の朝乃山のパネルと応援メッセージ貼付ボードが設置してあります。本場所開催時には、番付表や勝敗表、過去の富山県力士の紹介等も行っています。

